



茜の空

令和5年度 第5号

発行日 9月6日(水)

練馬区立石神井南中学校

校長 木原 賢三

「生きる力」の育成に向けて

校長 木原 賢三

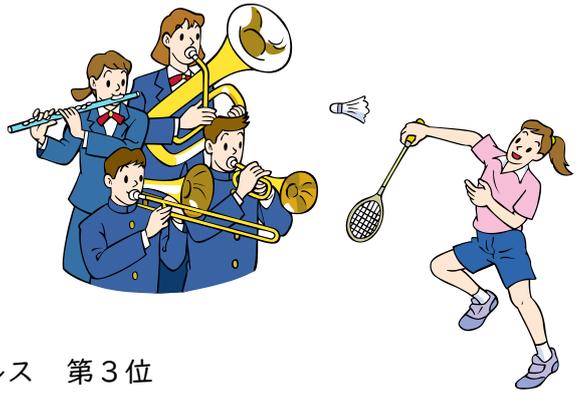
42日間の長い夏休みが終わり、静まりかえっていた校舎に生徒たちの元気な声が響き渡り、活気あふれる学校が戻ってきました。今年の夏は、猛暑が続きましたが、本校の生徒たちは補充学習や部活動の取り組みなどを活発に行い、仲間と励まし合い、支え合い、充実した活動が行われていました。また、3年生は目標の進路の実現に向けて充実した日々を送ることができたようでした。

さて、8月6日から1年生のイングリッシュ・キャンプが実施され、大自然の中、3日間様々なことにチャレンジすることができました。生徒たちは仲間とのコミュニケーションを通して英語を楽しむとともに、集団生活を通して友達の新しい面を知ることができ、一人ひとりが大きく成長することができた3日間となりました。普段の授業で学ぶことができない大自然の中での学びを通して、生徒たちは英語でコミュニケーションをとることを大いに楽しんでいました。コミュニケーションで大切なことは、自分が伝えたいことを自分なりにしっかりと自分の言葉で話すこと、そして、相手のことを思いやり、きちんと話を聞くことということが実感でき、3日目にはみんなが笑顔で修了証をもらうことができました。キャンプが終わって「英語で自分が伝えたことをみんなが一生懸命に聞いてくれて、伝わってとても嬉しかった。これから学校の授業でも、英語を頑張りたい」という感想を多く聞き、「学ぶ」ということが、ただ単に知識や技能を覚えるだけでは習得することが難しいけれども、楽しみながら自分で考えて英語を使ってコミュニケーションをとることで、多くの学びを得ることができるということを痛感しました。2500年前の中国の思想家の孔子は、「論語」の中で「学びて思わざれば則ちくらし、思いて学ばざれば則ちあやうし」と記しています。つまり、広く知識や技能を学ぶだけで自分なりに考えて理解しなければ、何も身に付かず、自分なりに考えるだけで知識や技能を学ばなければ、独断偏向に陥り、危ういものになってしまう、真の学習とは、「広く学ぶこと」と、「自分自身で考えること」の両方ができてはじめて達成されるということです。今回のキャンプで多くのことを学んだ生徒たちが、コミュニケーションを深めることを通して多様性の社会の中、思いやりをもち「生きる力」を育てていってくれることを期待しています。

最後に、9月1日は、かつて関東大震災がおり、「防災の日」とされています。台風や津波、地震、豪雨などの災害に対して、皆さん一人一人が災害への理解を深め、日頃から心構えを育み、いざという時に適切に行動できるようにと備える日です。皆さんも自分の命、他者の命をも守るためにどのように行動すればよいか、考えてみてください。

いよいよ2学期がスタートしました。本校では、職場体験をはじめ、合唱コンクールなど様々な学校行事が行われ、勉学の秋、スポーツの秋等、生徒が充実した学校生活を送ることができるように取り組んでいきます。そのような教育活動を通して、本校の教育目標の1つである「自ら学び、社会で生かせる人」の実現に向けて、学校で学んだ知識や技能をただ理解するだけでなく、それらを活用して自分で考え、課題を解決することを通して、生きる力を育み、地域社会に貢献することができる力を育成してまいります。1年間の中で最も充実した2学期を一人ひとりが学びを深めて、大きく成長できることを期待しています。今後とも保護者の皆様の教育活動へのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

表彰 ～石南中生の活躍～



◆吹奏楽部

第63回 東京都中学校吹奏楽コンクール B組 金賞

◆バドミントン部

第62回 東京都中学校総合体育大会

兼第70回 東京都中学校選手権大会 女子シングルス 第3位

※この結果を受け、前橋市で行われた関東中学校バドミントン大会に出場しました。

練馬区立中学校生徒海外派遣

7月23日(日)～30日(日) オーストラリア(イスブウィッチ市 他)

区の生徒海外派遣に本校からは、3年生の〇〇〇〇さん、2年生の〇〇〇〇さんの2名が参加しました。

(写真は、7月30日の帰着式の様子です)



1年生 イングリッシュキャンプ

8月6日(日)～8日(火) ベルデ武石

